

『ハルコ』『マリアのへそ』『61ha 絆』野澤和之監督作品
『がんと生きる言葉の処方箋』に続く処方箋シリーズ第二弾



文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業

ドキュメンタリー映画

認知症と生きる

希望の処方箋



認知症にかかっても幸せに生きなければならない
助け合う人々と場所がある

そこには音楽の力が溢れていた

主な出演者：北村裕美子 赤塚 望 錫村明生 石川英昭 猪狩裕史 中村夕美 谷口和敏 谷口かず子 伊藤路子 石川 榮 石川明子 後藤夏子 山本美里 加藤美智子

水野鉄子 山田鈴子 小倉瑞希 小倉大誠 高野洋子 犬飼あゆ美

プロデューサー：赤間敏孝 上田幸同 追分健爾 並木秀夫 宮田昌利 吉野ひとみ 協力プロデューサー：河野義勝 アカデミックプロデューサー：真野俊樹

ゼネラルプロデューサー：田寺順史郎 撮影監督：堂本昌宏 撮影：吉田 誠 葛原圭人 技術協力：川口良美・abyss 音声：深野千穂 制作：沼澤信明 編集：平井将人

MA：竹山公一郎 studio CATS 音楽：合田享生・t&kプロジェクト 宣伝デザイン：井上 正 監督：野澤和之

製作：2025年問題映画製作委員会 配給：武蔵野エンタテインメント株式会社 2022年 日本映画 カラー ステレオ DCP 110分

©2025年問題映画製作委員会 E-mail: crisis2025film@googlegroups.com





特効薬のない病、認知症が増えている中で、人々は認知症とどう付き合って生きていくのが問われています。認知症の症状を薬で和らげたり、進行を遅らせたりする様々な療法があります。映画では、名古屋の病院で音楽療法を実践する二人の音楽療法士にスポットを当てています。うどん屋を営んでいた夫婦、

脳梗塞で半身麻痺になった女性、認知症高齢者グループホームで療養する男性・・そんな彼らに、音楽療法士が、優しく音楽を投げかける。相手の病状と人生を鑑みながら適切な音楽療法を施していく。すると、そこには、誰も予想しなかった結果が。「認知症は治らなくても幸せになる時があればいい」認知症の夫を介護する女性が言い放ちます。まだ知られていない音楽療法。音楽と人の深いつながりの中に希望が見えてきます。



音楽療法 音楽には生きる希望をもたらす力が宿る

音楽の持つ働きを用いてクライエント(対象者)の健康の回復、保持、改善、促進などをを行う。世界的には、様々な定義がなされている。



●監督からの一言

がんも認知症も私たちの脅威に違いありません。しかし、病と共に生きる手立てがあると確信しています。

どうか、映画から希望の力をもらってください。 野澤和之

●プロデューサーから一言

頻繁に報道されている新型コロナ感染のニュースに次いで、最近目につく「認知症」の記事。続々出版される書籍・漫画本。アルツハイマー病に効果のある新薬の話題。また、身近な人が認知症になって、介護問題に悩んでいる方がいます。この映画を通じて音楽療法が新しいケアの仕方として普及し、根付いて欲しいと願っています。 田寺順史郎

【協賛】



BEING



株式会社 昭特製作所



武蔵野興業株式会社



東京メディカルスクール
Tokyo Medical School

株式会社BP-TECH

Brain & Body Store®

特別協力

医療法人偕行会グループ ファミリーハウス「とんと」名古屋音楽大学

後援:一般社団法人 日本在宅介護協会 一般社団法人 日本セルフケア研究会

お問い合わせ:2025年問題映画製作委員会 E-mail:crisis2025film@googlegroups.com

製作:2025年問題映画製作委員会 HP: <https://kibounosyohosen.com>

配給:武蔵野エンタテインメント株式会社



【新宿東口映画祭2023】参加!

6月3日(土)10:00・6月7日(水)11:55 新宿武蔵野館にて上映
8月11日(金)よりロードショー

新宿

武 蔵 野 館

MUSASHINO-KAN SHINJUKU